

やまがたゆきみらい推進機構 入会のご案内



ゆきちゃん



みらいくん

やまがたゆきみらい推進機構 事務局

〒995-0024 山形県村山市楯岡笛田四丁目5番1号

山形県村山総合支庁北村山総務課北村山地域振興室内

電話：0237-47-8614 FAX：0237-55-5326

メール：ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

「やまがたゆきみらい推進機構」入会のご案内

平成 19 年 10 月 12 日、「山形県地域における雪対策の新しいうねりを起こすため、本県の産業界、大学、行政、民間などセクターを越えた人的なネットワーク組織「やまがたゆきみらい推進機構」が設立されました。お蔭さまで、これまで地域の産業界や大学、関係機関等から数多くの入会をいただき、積極的な活動を行っております。

「雪国やまがた」を愛し、山形の雪対策の進展に積極的に貢献しようとする意思のある方はどなたでも参加できる組織です。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

やまがたゆきみらい推進機構 会長 飯塚 博

【入会手続きについて】

入会申込書に必要事項を記入のうえ、郵送または F A X により事務局あてに提出するとともに、入会金を指定口座に払い込んでください。もしくは、事務局に直接来所のうえ、入会手続きを行うこともできます。

会員は、個人会員、法人会員の 2 種類です。法人会員の場合、入会金 1 口につき、当機構からの情報を受信できる者を 5 名まで登録できます。

入会金は、個人会員 1,000 円、法人会員 3,000 円（1 口）です。なお、会費の負担はありません。

入会金は、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの青色の払込書用紙に、住所、氏名等の必要事項、通信欄に「やまがたゆきみらい推進機構入会申込」と記入のうえ、次の口座に払い込んでください。

払込口座	口座記号・番号：02250-1-69997
加入者名	：やまがたゆきみらい推進機構

ゆうちょ銀行以外の金融機関から入会金を振り込まれる場合は、次のとおりです。

ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）	二二九 店（店番コード：229）
種別：当座預金	口座番号：69997 名義人：やまがたゆきみらい推進機構

払込（振込）手数料は、たいへん恐縮ですが、お申し込みの皆様の皆様のご負担をお願いします。

事務局で入会申込書と入会金納入の確認後、「入会」となります。

会員証は発行しておりません。

【情報提供について】

ホームページでは、当機構の活動内容などをご覧いただけるほか、制作協力した「安全な雪下ろし作業 DVD」の動画配信も行っております。また、「ゆきみらい掲示板」では、会員の皆様の意見交換の場を設けており、ネット上で「雪」の熱い議論に参加できます。

ホームページアドレス <http://yamagatayukimirai.web.fc2.com/>

または「やまがたゆきみらい」で検索

当機構からのお知らせ等について、随時、電子メールで配信しております。（法人会員にあっては、法人代表メールアドレス及び受信登録者メールアドレスに送信します。）

「やまがたゆきみらい推進機構」入会申込書

平成 年 月 日

会員の区分	個人会員 ・ 法人会員		
氏名・名称	かな		
	漢字		
住所・所在地	〒		
連絡先	電話	FAX	
	E-Mail		
所属団体・勤務先		役職名	

法人会員の情報受信登録者名簿（入会金1口につき、5名まで登録できます。）

氏名		役職名	連絡先
(担当)	かな		電話
	漢字		FAX
			メール
	かな		電話
	漢字		FAX
			メール
	かな		電話
	漢字		FAX
			メール
	かな		電話
	漢字		FAX
			メール
	かな		電話
	漢字		FAX
			メール

- (注) 1 記入された個人情報は、当機構の活動目的以外には使用しません。
 2 記入された電子メールアドレスは、当機構のメーリングリストに登録します。
 3 入会申込書は、下記あてにFAX又は郵送で提出してください。(直接来所のうえ、提出することもできます。)

提出先 〒995-0024 山形県村山市楯岡笛田四丁目5番1号
 山形県村山総合支庁北村山総務課北村山地域振興室内
 やまがたゆきみらい推進機構事務局
 FAX: 0237-55-5236

「やまがたゆきみらい推進機構」設立趣意書（抄）

平成 19 年 10 月 12 日

山形大学工学部長	大場 好弘
東北芸術工科大学総合研究センター長	上原 勲
雪氷防災研究センター新庄支所長	佐藤 威
山形県消融雪システム研究会副会長	桂木 聖彦
村山市長	佐藤 清
山形県村山総合支庁長	小松 幸勇

設立の趣意

県内全域が豪雪地帯である本県にとって、降雪がもたらす県民生活への影響を軽減するための「雪対策」は、科学技術の進歩した今日でも、未だ解決されない有史以来の重要な課題となっています。

本県をとりまく近未来の環境を俯瞰してみると、人口の過疎化と高齢化、自然環境の保全、雪国のハンディキャップ等はまさしく地域が直面する喫緊の課題であり、地域の実情やニーズを踏まえたきめ細かな対応が求められています。これまでも地域の雪対策として、雪国各地で具体的な試みがなされていますが、未だ確立した技術や手法を手に入れるまでには至っておりません。

こうした雪の課題に産・学・官・民が連携し、住民と協働して積極的に取り組むことによって、地域に適した先駆的な技術とシステムが確立されていくなれば、つらく厳しい雪国生活の様相を一変させることが期待されます。過疎化、高齢化への対応など、本県地域がいち早く突入する社会的状況を踏まえた先進的な雪対策の取り組みや技術開発を重点的、且つ、戦略的に展開することによって、総合的な雪対策のパイオニア的存在となり、快適な雪国地域の創造に寄与することができると思えます。

豊かな自然の恵みは、ときに優しく、ときに厳しくそこに生活するものたちを育んできました。本県は、故松岡俊三代議士の雪害救済運動などの先人の活躍により、「雪対策施策発祥の地」として全国的な評価を受けているほか、各地域には雪に親しみ、雪と闘い、雪を利するさまざまな先人の知恵が残されています。まさに、雪対策の「メッカ」として発展する下地が整っている地域でもあります。したがって、地域の産学官民の力を結集して、広範な研究プロジェクトがさまざまな場面で展開されていく状況を作り出していくこと、そしてそれらの成果を発信していくことが大切と考えます。

私たちは、今こそ県民一人一人の英知と地域の潜在能力を引き出しながら、本県地域における雪対策の新しいうねりを起こす仕組みづくりを進めていきたいと思えます。最初に、地域の産業界、大学、行政などセクターを越えた人的なネットワークづくり（出会いの場）を行います。産・学・官・民の連携を契機にして、さまざまな交流の輪となり、やがて克雪技術の研究などの特定の目的を持ったグループが息吹となり、それが形となった成果を発表し、普及、啓発を行っていくことを目指します。すなわち、雪関連の人材ネットワークを基盤にしなが、快適な雪国生活をしていくための雪対策の情報発信基地となるものです。

私たちは、これを「やまがたゆきみらい推進機構」として設立します。